



いじめ撲滅キャンペーンがスタートしました

第2回いじめ撲滅キャンペーンが、7日（月）から始まりました。第1回と同じように、今回も PTCA 役員の方と企画委員の子供たちが一緒に小学校正門前で、また中学校正門前では、中学校執行部の生徒たちと一緒に「いじめをなくそう！」のかけ声をかけながらあいさつをしました。朝早くからご協力いただいた、PTCA 役員の皆様、ありがとうございました。

キャンペーン中は、アンケートや個人面談を行ったり、道徳科や学級活動で友達を思いやる気持ちの大切さを学習したりして、子供たちに、「いじめは絶対許されないものだ」という意識を高めていく取組をしていきます。

いじめ撲滅キャンペーンはスタートしたのですが…

いじめ撲滅キャンペーンが始まって、学校では、「いじめ0」に向けた取組を進めているところですが、机のすみに、「〇〇死ね」という落書きが残されていたという本当に残念なことが起きてしまいました。落書きをした児童は、まだ特定することができていません。落書きは、自分の正体を明らかにせず、相手を落とし入れる絶対に許されない行為です。自分の名前が、そんな言葉とともに落書きされていたと知った時の書かれた人の気持ち、書かれた人のおうちの方の気持ちははかりしれないものがあります。学校では、引き続き、聞き取りや児童の様子を観察していくことで、落書きした児童の特定に努めていきますが、今後、こんな悲しい思いをする人を出さないように、次のような取組を全学年で進めていきたいと思えます。



- 朝の会、帰りの会で、落書きやいじめがいかにひきょうなものであるか、相手を傷つけることであるかということについて相手の立場に立って考えていけるように話をしていく。
- 自分で考えて、判断し、正しい行動ができるような規範意識を育てていくために、具体的な場面をとらえて指導を重ねていく。
- 道徳科の学習を通して、真の友情を築こうとする態度や、思いやり気持ちを育てていく。
- 学級活動で、怒りを暴力やいじめ、悪口といった形で表すのではなく、感情のコントロールの仕方について学ぶ機会をもつ。
- 友達の心や体を傷つける行為が発覚した時は、早期対応に努めるとともに厳しく指導していく。

ご家庭でも、落書きや悪口、暴力等の相手を傷つける言動は絶対にしないこと、友達を大切にすることについて、ぜひ、お話をしてみてください。

どの子も元気に笑顔で楽しく過ごすことができる呉中央小学校となるよう、学校・保護者・地域で連携して取り組んでいきたいと思えます。ご協力をお願いします。